

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	キャリア開発 I (Carrier Development I) 101002-14000					担当教員	石川 英樹 (イシカワ ヒデキ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	1年次	開講期	後期
科目特性	協同学修型 AL/外部講師招聘科目								

① 授業のねらい・概要
キャリア形成の基礎知識習得と能力形成のための基礎的科目である。人生とキャリアの関係やさまざまな仕事等について、外部講師の講演も交えて、キャリアデザインの考え方及び自身のキャリア形成意識についての講義を行う。さらに、社会人基礎力の醸成も意図した授業である。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力/コミュニケーション能力を養う授業である。
③ 授業の進め方・指示事項
外部講師による授業もふくめて講義形式による授業が中心になる。グループディスカッションなどのグループワークも取り入れ、主体性とコミュニケーション力の向上を図る。各授業の最後には授業内容に沿った課題を課す。各回の授業内容は外部講師の事情等により講義日、内容が変わる場合がある。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「キャンパスライフ入門」、「ゼミナール I (前)」、「ゼミナール I (後)」、「日本事情」(留学生)
⑤ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) キャリアデザインの考え方を理解し説明できる。 (ii) 大学時代の自らのキャリア形成の目標を明確にして説明できる。 (iii) 社会人基礎力(「チームで働く力」(規律性など))の向上を他者に示せる。 (iv) キャリア形成の土台となる一般教養を身につけた。
⑥ テキスト(教科書)
特にもうけない。各回、必要に応じて資料・レジュメ等を配布する。
⑦ 参考図書・指定図書
山崎京子・平林正樹(2018)『未来を拓く キャリア・デザイン講座』中央経済社

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) キャリアデザイン	キャリアデザインの意義および自身のキャリアデザインを他者に説明できるとともに、授業内容を超越する成果を示している	キャリアデザインの意義および自身のキャリアデザインを他者に説明でき、実践している	キャリアデザインの意義および自身のキャリアデザインを、資料類等を参照することで他者に説明できる	キャリアデザインの意義および自身のキャリアデザインを、資料類等を参照し、教員の助言を得ることで他者に説明できる	キャリアデザインの意義および自身のキャリアデザインを、資料類等を参照し、教員の助言を得ても他者に説明できない
(ii) キャリア形成の目標	自身のキャリア形成の目標を明確に設定して他者に説明し、それに沿った大学生活の実践を示せる	自身のキャリア形成の目標を明確に設定して他者に説明できる	曖昧な部分を含みながらも、自身のキャリア形成の目標を設定して他者に説明できる	教員の助言を得ることで、曖昧な部分を含みながらも、自身のキャリア形成の目標を設定して他者に説明できる	教員の助言を得ても、自身のキャリア形成の目標を設定して他者に説明できない
(iii) 社会人基礎力（「チームで働く力」（規律性など）の向上	授業のルールを完璧に遵守している	授業のルールを十分遵守している			授業のルールを遵守していない
(iv) キャリア形成の土台としての一般教養	与えられた課題を完璧に解答している	与えられた課題を十分解答している（八割以上解答）	与えられた課題を解答しているが、改善の余地がある（七割以上解答）	与えられた課題を最低限の水準は解答している（六割以上解答）	与えられた課題を最低限の水準まで解答していない（六割未満解答）

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	米百俵ドリル・理科	合計
総合評価割合	40%		28%			20%	12%	100%
(i) キャリアデザイン	20%		14%					34%
(ii) キャリア形成の目標	20%		14%					34%
(iii) 社会人基礎力						20%		20%
(iv) 一般教養							12%	12%

フィードバックの方法	課題や試験の評価をフィードバックする。
------------	---------------------

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
自らのキャリアについて考えることができるよう、学生の理解度・授業改善提案などを確認しながら講義を進めていく。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	ガイダンス	配布資料の復習	60分
2	キャリアデザインの考え方①～これまでの振り返り	これまでの自己の振り返りのまとめ	60分
3	キャリアデザインの考え方②～自己分析と目標	自己分析の整理と目標についての考察、米百俵ドリルへの取り組み	60分
4	学生生活とキャリア形成	学生生活における目標の明確化	60分
5	仕事研究の概観	配布資料の問題（仕事研究の概観）の振り返り、米百俵ドリルへの取り組み	60分
6	仕事研究～職種（外部講師）	配布資料の問題（職種の研究）の振り返り	60分
7	仕事研究～業種・業界（外部講師）	配布資料の問題（業種・業界の研究）の振り返り、米百俵ドリルへの取り組み	60分
8	仕事研究～企業（外部講師）	配布資料の問題（企業研究）の振り返り	60分
9	自己分析について	配布資料の問題（自己分析）の振り返り、米百俵ドリルへの取り組み	60分
10	ビジネスマナーの基本	配布資料の問題（ビジネスマナー）の振り返り	60分
11	自己分析と仕事研究のマッチングについて	配布資料の問題（自己分析と仕事研究のマッチング）の振り返り、米百俵ドリルへの取り組み	60分
12	グループディスカッション①	ディスカッション結果についての振り返りと展開ノート作成	60分
13	グループディスカッション①	ディスカッション結果についての振り返りと展開ノート作成、米百俵ドリルへの取り組み	60分

14	まとめ、ふりかえり	配布資料の復習、課題レポートへの 取り組み	60分
15	PROGテスト（予定）	配布資料の復習、課題レポートへの 取り組み	60分

⑫ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型ALを採用する。振り返りシート等の内容をもとに考察等を行い、学修内容を確認する。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	
実務経験と授業科目との関連性	